

第72回税理士試験 ラストスパート模試 簿記論 (2022年5月20日 初版 第1刷)

弊社の書籍をご利用いただき、有難うございます。

訂正が出ないようにと努力しておりますが以下の通り、誤りが判明致しました。

ご迷惑をおかけして申し訳ございませんが訂正のうえ、ご利用ください。

なお、弊社HP【「ネットスクール」検索→「読者の方へ」】にて訂正資料等の最新情報を閲覧・ダウンロードできますので、ご利用下さいますようお願いいたします。

2022.7.14

ページ	訂正箇所	誤	正	備考
第1予想 (問題編) -A1-	【資料2】合併に関する事項 4	4 企業評価額の算定は、時価純資産価額法と 収益還元 価値法 による企業評価額の折衷法を採用する。	4 企業評価額の算定は、時価純資産価額法と 収益還元 価値法(自己資本は時価純資産価額とする。) による 企業評価額の折衷法を採用する。	2022.6.9
第1予想 (解答・解説編) -16-	1 P工事 (2) 当期の処理 ③※	※ この時点でのP工事の契約資産の残高は25,200千円 (= 1,440千円-23,760千円)です。	※ この時点でのP工事の契約資産の残高は25,200千円 (= 1,440千円+23,760千円)です。	2022.6.9
第2予想 (解答・解説編) -52-	6 商品 (1) A商品3月中仕 入高	(16,170,000円(3月5日仕入(税込))+4,950,000円(3月18 日仕入(税込))+4,950,000円(3月24日仕入(税込))) × $\frac{10}{110}$ =23,700,000円	(16,170,000円(3月5日仕入(税込))+4,950,000円(3月18 日仕入(税込))+4,950,000円(3月24日仕入(税込))) × $\frac{100}{110}$ =23,700,000円	2022.6.9
第3予想 (問題編) -A11-	(問題の前提条件)7	7 問題文に勘定科目の指示がある場合には、その勘定科目 に従うものとし、それ以外については 答案用紙 に示し ている適当な勘定科目により処理をする。	7 問題文に勘定科目の指示がある場合には、その勘定科目 に従うものとし、それ以外については 決算整理後残高 試算表 に示している適当な勘定科目により処理をする。	2022.6.9
第3予想 (問題編) -A17-	7 投資有価証券に 関する事項 (4)	(4) 2020年 3月29日にF社株式250株を2,409,500円で 購入する契約を結んでいる。購入代金支払日(有価証券 の受渡日)は 2020年 4月1日であり・・・	(4) 2022年 3月29日にF社株式250株を2,409,500円で 購入する契約を結んでいる。購入代金支払日(有価証券 の受渡日)は 2022年 4月1日であり・・・	2022.7.14
同上	8 人件費に関する 事項 (1)	福利厚生費(法定福利費を含む) 226,353,600円	福利厚生費(法定福利費を含む) 23,808,120円	2022.6.21
第3予想 (解答・解説編) -77-	2 預金 (1) 当座預金	甲社修正前の帳簿残高は、J銀行 29,026,460円 、K銀行 8,359,440円です。	甲社修正前の帳簿残高は、J銀行 29,035,628円 、K銀行 8,359,440円です。	2022.6.9
第3予想 (解答・解説編) -81-	5 商品 (2) 売上原価の算定 等	答案用紙の決算整理後残高試算表 より「売上原価」勘定 を用います。	決算整理後残高試算表 より「売上原価」勘定を用います。	2022.6.9

ISBN978-4-7810-3745-5

C1034 ¥2800E